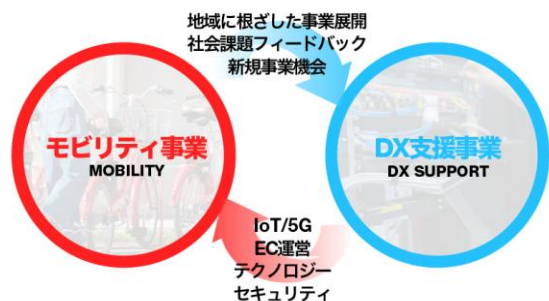




クララグループの価値創造モデル

○本社所在地：東京都港区

○事業概要：モビリティ事業（シェアサイクル・リユース自転車買取販売・自転車製造販売・メンテナンス）、DX支援事業（クラウド・ビジネスコンサルティング・スポーツIT・プロバスケットボールクラブ）

○常時使用する従業員：341名（グループ全体・2026年7月時点）

○現在の売上高：58億円（グループ全体・2025年12月期）

○法人番号：2010401089786

○Web：https://www.clara.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
家本 賢太郎

テクノロジーで社会課題を解決する / 地域に根ざした循環型まちづくりの実現

クララグループは「次の時代を道づくる」をミッションに掲げ、テクノロジーを活かし、モビリティ事業とDX支援事業の2軸による社会課題解決に挑んでいます。モビリティ事業では、脱炭素社会の実現に向け、シェアサイクルやリユース自転車買取販売、自転車製造などを通じて、設計・製造・アプリ開発・サービスオペレーションまでを垂直統合した「循環型モビリティ・エコシステム」を展開しています。一貫した事業体制により素早いフィードバックと品質改善を強みとし、また地域に根ざしたまちづくりへの貢献に取り組んでいます。同時に、こうした社会課題の解決を実現するために欠かせないDX支援を創業以来続けています。2031年に企業グループ売上高100億円を達成し、その成果をグループ341名の成長と待遇のさらなる改善、そして地域の移動インフラへの再投資へと還元します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2031年の企業グループ売上高100億円達成に向け、モビリティ事業拡大とDX支援の2領域でのデータ活用ナレッジと車両製造ノウハウを相互活用する垂直統合モデルの拡大を目指します。

・モビリティ事業：32億円 → 76億円

・DX支援事業：26億円 → 37億円

（グループ売上高 2025年12月期58億円、年率約13.7%成長）

課題

- ・モビリティ事業の収益は天候影響度が大きいため、事業知見を活かした新規事業（海外向け中古販売、貨物運送用自転車、国内製造ライン立ち上げなど）による事業の多層化を実現し、収益基盤を強化します。
- ・シェアサイクル市場は上位4社の寡占であり、都市展開の拡大ではなく既存展開都市周辺の「エリアドミナント」（広域での展開）に集中します。
- ・規模拡大に対応する管理部門の強化と次世代マネジメント層の育成、専門人材（海外販路・ハード開発等）の確保を進めます。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・シェアサイクル：拠点増設と主要駅前駐輪場との連携（福岡市の優先事業者に採択中／2025年4月～2031年3月）
- ・海外展開：中古自転車の欧米等への販路開拓
- ・新分野進出：次世代型貨物運送用自転車を開発・製造販売し、EC物流需要を取り込む
- ・DX支援事業のデータ活用ナレッジをモビリティ事業へ横展開（グループ内垂直統合モデル）

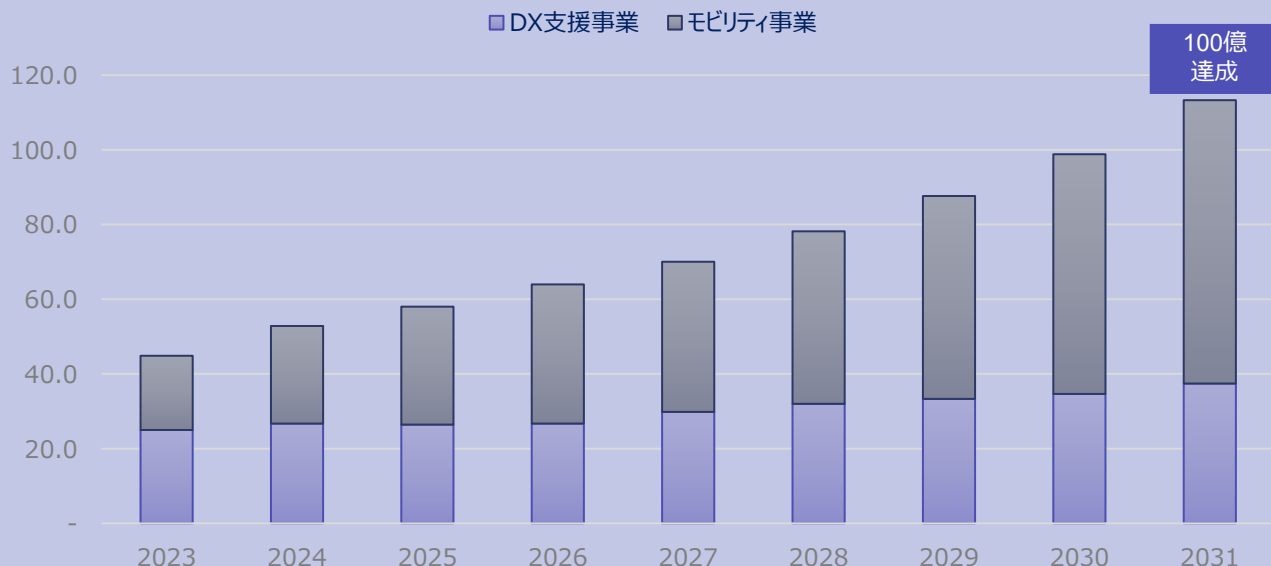
実施体制

- ・クララ株式会社を親会社とする8社のグループ経営（モビリティ事業4社／DX支援事業4社）。車両製造からサービス運営までを一体で推進
- ・海外事業部の新設と管理部門（コーポレート）の体制強化
- ・出店地確保に向けた不動産事業者との連携
- ・行政機関出身人材およびリユース市場経験者の継続採用。年5%程度の賃上げを継続し、処遇改善により優秀な人材を確保

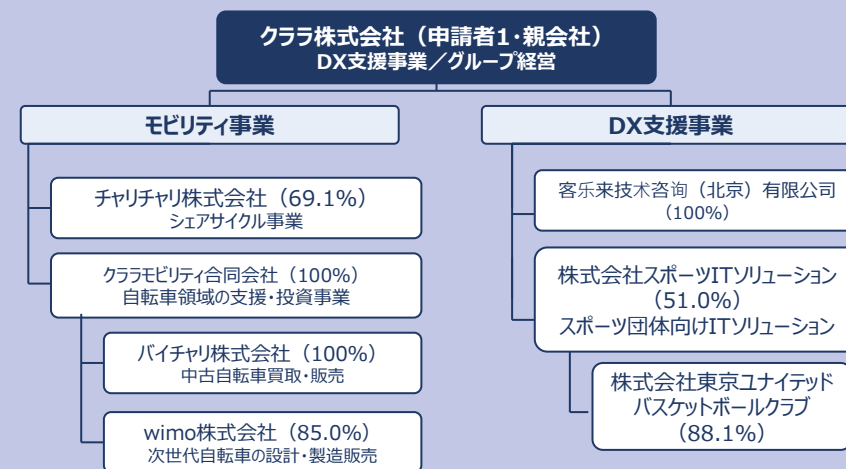
企業グループ体制と成長イメージ

- 企業グループによる宣言：クララ株式会社を親会社とする8社（子会社7社）で売上高100億円を目指します。モビリティ事業（チャリチャリ、バイチャリ、wimo、クララモビリティ）とDX支援事業（クララ、スポーツITソリューション、東京ユナイテッドバスケットボールクラブ、クララ中国）との2領域で、データ収集・活用ナレッジと車両製造・運用ノウハウを相互活用する垂直統合した「循環型モビリティ・エコシステム」の更なる成長を目指します。
- グループ売上高の実績：2023年12月期 45億円 → 2024年12月期 53億円 → 2025年12月期 58億円（2期平均成長率 +13.7%）。
- 計画：2031年12月期に113億円（モビリティ事業76億円／DX支援事業37億円）。
- 成長の柱：①シェアサイクル拠点の増設と中小事業者のM&A ②中古自転車の海外販路開拓 ③国内製造ライン構築 ④次世代型貨物運送用自転車の開発・製造販売 ④DX支援事業（クラウド・ビジネスコンサルティング・システム開発）の深耕

企業グループ売上高の推移と計画（億円）



企業グループ構成（（ ）内は出資比率）



※バイチャリ・wimoはクララモビリティ合同会社の子会社、東京ユナイテッドバスケットボールクラブは株式会社スポーツITソリューションの子会社（いずれもクララ株式会社の会社法上の子会社）。